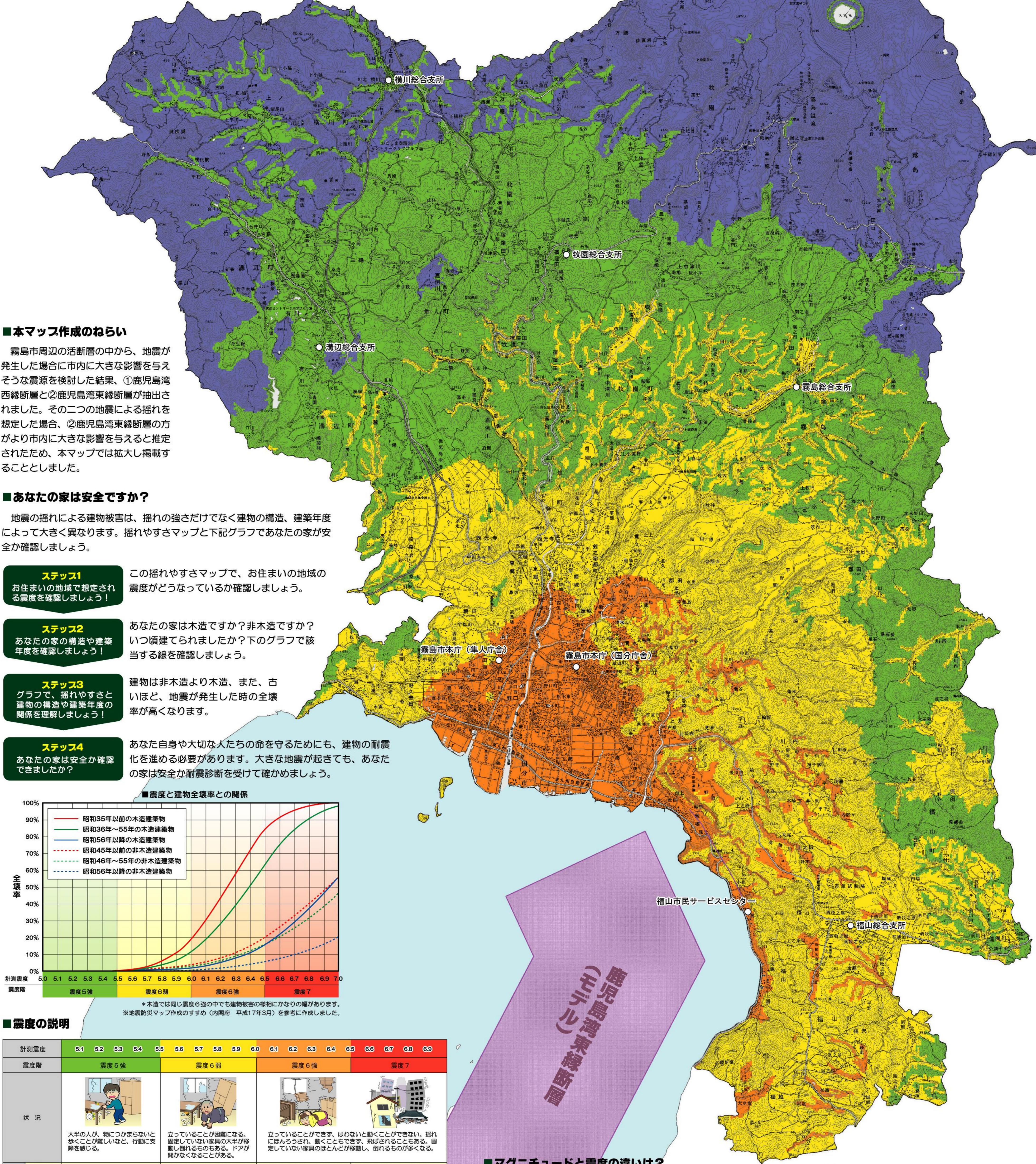
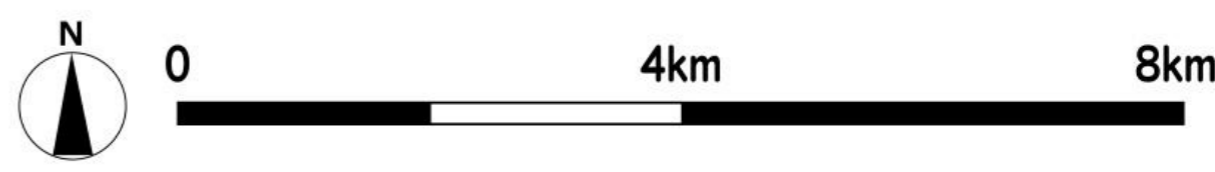


鹿児島湾東縁断層による地震の揺れやすさマップ

地震被害形態



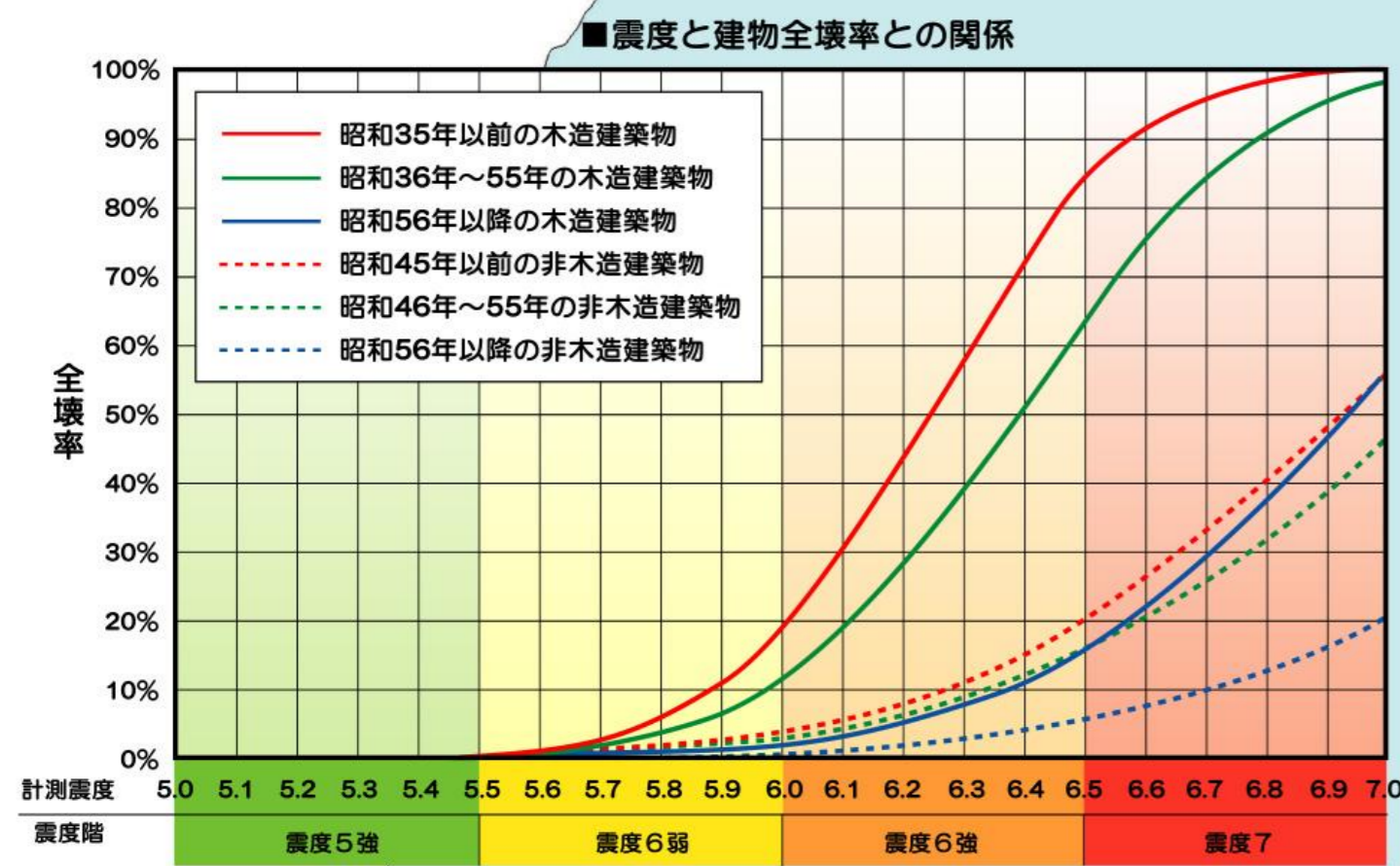
本マップ作成のねらい

霧島市周辺の活断層の中から、地震が発生した場合に市内に大きな影響を与えそうな震源を検討した結果、①鹿児島湾西縁断層と②鹿児島湾東縁断層が抽出されました。その二つの地震による揺れを想定した場合、②鹿児島湾東縁断層の方がより市内に大きな影響を与えると推定されたため、本マップでは拡大し掲載することとしました。

あなたの家は安全ですか？

地震の揺れによる建物被害は、揺れの強さだけでなく建物の構造、建築年度によって大きく異なります。揺れやすさマップと下記グラフであなたの家が安全か確認しましょう。

- ステップ1** お住まいの地域で想定される震度を確認しましょう！
- ステップ2** あなたの家の構造や建築年度を確認しましょう！
- ステップ3** グラフで、揺れやすさと建物の構造や建築年度の関係を理解しましょう！
- ステップ4** あなたの家は安全か確認できましたか？



震度の説明

計測震度	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9
震度階	震度5強				震度6弱				震度6強				震度7						
状況																			
木造	高い耐震性				低い耐震性				高い耐震性				低い耐震性						
新耐震基準	高い耐震性				低い耐震性				高い耐震性				低い耐震性						

マグニチュードと震度の違いは？

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ（規模）を表すものさしです。一方「震度」は、ある大きさの地震が起きた時のわたしたちが生活している場所での揺れの強さのことを表します。マグニチュードと震度の関係は、例えばマグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、マグニチュードの大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。

